

科目名	古文書基礎学 2					単位	2.0
担当教員	小久保 嘉紀						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	3315

●授業のテーマ

「古文書からみる戦国時代」

●到達目標

古文書学の知識、古文書読解の技術を身につける。また、戦国期の古文書の読解を通して、戦国時代の様相を理解する。

●学習内容(授業概要)

信長・秀吉・家康という天下人や、武田信玄ら戦国大名に関する古文書、また本能寺の変など歴史上の事件に関する古文書を読解する。

なお、演習形式であるので受講者は授業中に、実際に古文書の読解（読み下し・現代語訳）を行う。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. オリエンテーション
2. 戦国時代論
3. 古文書学の基礎知識
4. 織田信長について
5. 豊臣秀吉について
6. 徳川家康について
7. 武田信玄について
8. 上杉謙信について
9. 毛利元就について
10. 伊達政宗について
11. 桶狭間・長篠の戦いについて
12. 本能寺の変について
13. 小牧・長久手の戦いについて
14. 関ヶ原の戦い・大坂の陣について
15. 授業のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

試験での史料問題は授業であつかったものから出すので、よく復習しておくこと。

●成績評価方法・基準

筆記試験（70%）＋平常点（30%）

●テキスト（必携）

とくになし。授業中にプリントを配布する。

●参考文献／その他

- ・小和田哲男『戦国武将の手紙を読む』（中公新書、2010年）
- ・桑田忠親『武士の家訓』（講談社学術文庫、2003年）
- ・佐藤進一『新版古文書学入門』（法政大学出版局、1997年）
- ・二木謙一『戦国武将の手紙』（角川ソフィア文庫、2013年）
- ・『愛知県史 資料編』11～13（織豊1～3）

●履修上の注意

戦国時代に興味がある人にはいいかもしれない（逆に言えば、戦国時代に興味がない人には苦痛だと思う）。